

令和2（2020）年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程（社会情報学コース・特別選考枠）
入学試験問題
専 門 科 目

（令和元年8月19日 14：00～16：00）

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. これは、社会情報学コース・特別選考枠の問題冊子である。
2. 本冊子の本文は4ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は5枚ある。第1問・第2問は、問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。第3問は、選択した用語ひとつひとつについて、それぞれ1枚ずつの解答用紙を用いること。このほかにメモ用紙が1枚ある。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号（例：第1問）、第3問は問題の番号と選択した用語の番号（例：第3問（18））及び受験番号を必ず記入すること。問題の番号、用語の番号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、メモ用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏 名	

社会情報学（特別選考） 第1問

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

次ページ出典の文章を掲載しています。

下記出典の文章を掲載しています。

出典 Scott M. Cutlip, Allen H. Center, Glen M. Broom. *Effective Public Relations* 9th Edition.
Upper Saddle River, N.J. ; London : Prentice Hall, 2006

- (1) 次の文章は、本文中の空所 から のうち、どこに入れるのが最も適切か。一つを選んで、記しなさい。

上記出典の文章を掲載しています。

- (2) (a)、(b)、(c)、(d)、(e) に入る単語を次の選択肢ア～セからそれぞれ一つ選んで記しなさい。ただし、同じ選択肢を何度用いても構わない。なお解答は (a) ～ (e) の記号とともに記すこと。

ア about	イ after	ウ against	エ among	オ as	カ at	キ before
ク by	ケ for	コ from	サ in	シ on	ス out	セ to

- (3) 下線部 は、メディアが良くも悪くも組織に影響を与えうるものであることを前提としている。このことを本文の主旨を踏まえながら、具体例を挙げ、300 字程度で説明しなさい。なお解答は 日本語で 記述すること。

社会情報学（特別選考） 第2問

学際情報学府入学後の研究計画を 1000 字程度でまとめなさい。ただし、(1) 研究の目的、(2) 意義、(3) 関連研究との関係、(4) 具体的な研究内容について、項目を分けて記述すること。

社会情報学（特別選考） 第3問

以下の（1）～（18）の中から、3つの番号を選択し、その用語について、それぞれ300字程度で説明しなさい。ひとつの番号につき、1枚の解答用紙を用いなさい。その際、必ず選択した番号を解答用紙に明記すること（選択した番号が記載されていない解答は無効とする）。

- （1）事前差止めと表現の自由
- （2）情報公開制度
- （3）パブリシティ権
- （4）日本新聞協会の編集権声明（1948年）
- （5）メディア・リテラシー
- （6）ジェンダー・バイアス
- （7）日ソ共同宣言
- （8）ブロック経済
- （9）安全保障のジレンマ
- （10）データポータビリティ
- （11）世界貿易機関（WTO）
- （12）IoT（Internet of Things）
- （13）囚人のジレンマ・ゲーム
- （14）ドア・イン・ザ・フェイス・テクニック
- （15）マスメディア研究における限定効果論
- （16）感情労働
- （17）非公式組織
- （18）帰無仮説（null hypothesis）